

平成30年(2018年)6月27日(水曜日)

間伐材使いプランター、ベンチ

御西高生「木」で環境学ば



ベンチ製作に取り組む生徒

御殿場市の御殿場西高

御殿場市の御殿場西高で26日、「環境と木づくりに体験フォーラム」が開かれた。未来創造コースの1年生約130人が伝統技術に触れたり、ものづくりに体験したりして、環境問題への関心を高めた。(御殿場支局・矢嶋宏行)

伝統技術も体験

富士山麓の森づくりに取り組むNPO法人土に還る木森づくりの会(小松豊代表理事)が主催した。昨年まで10年以上続けた富士山学習に代わり、より広い視野で環境問題を考えてもらおうと企画した。

生徒たちは同市や小山町の間伐材を使い、プランターや組み木細工などの製作に取り組んだ。ベンチ製作では同法人メンバーの手ほどきを受け、電動工具を使い木の皮をむく作業や防腐用の塗料を塗る作業に汗を

流した。ヘラで樹皮をむく伝統的な作業法にも挑戦し、受け継がれてきた技術を学んだ。

三島市のNPO法人

グラウンドワーク三島の渡辺豊博専務理事が講演し、源兵衛川美化の取り組みや富士山について紹介した。